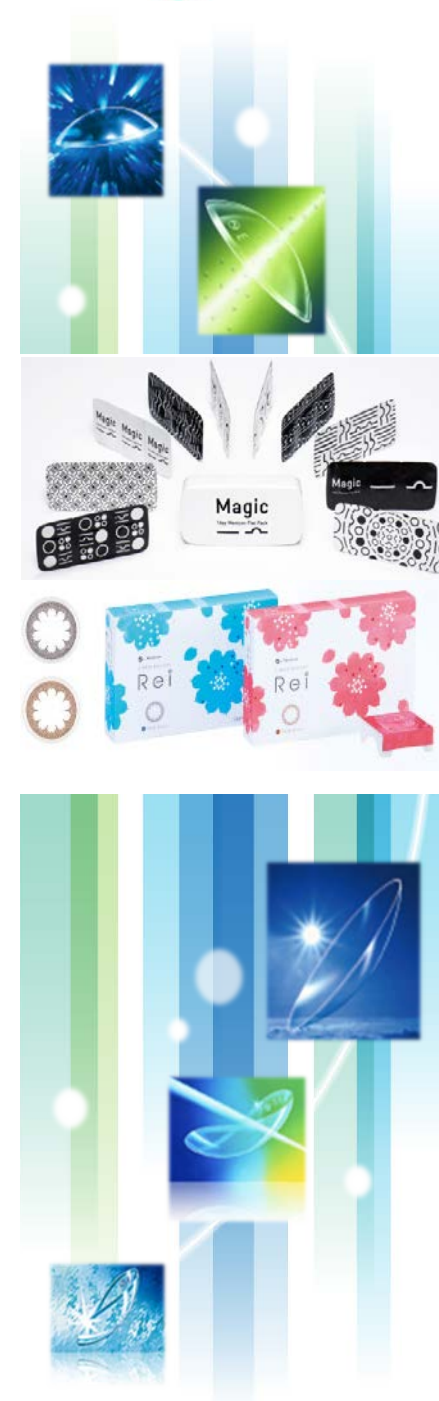


# 株式会社メニコン 会社説明資料(証券コード:7780)

2015年6月



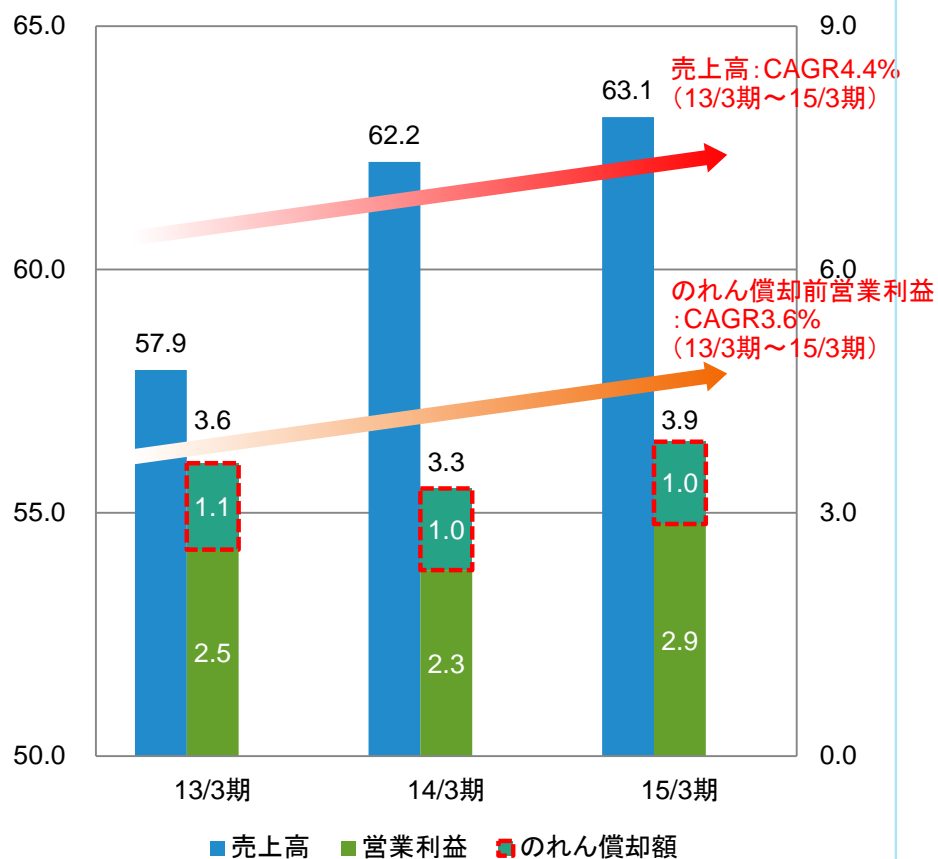
## 会社概要

会社名	株式会社メニコン (英訳名 Menicon Co., Ltd.)
本店所在地	名古屋市中区葵三丁目21 番19 号
設立年月日	昭和32年7月20日(登記上 昭和18年10月23日)
代表者の役職氏名	取締役兼代表執行役社長 田中 英成
事業の内容	コンタクトレンズおよびケア商品の開発・製造販売、動物用医療製品等・稲わらの分解促進剤等・生殖補助医療および先端医療分野の製品開発・販売等
資本金	1,769百万円(2015年3月末現在)
売上高	連結:63,131百万円(2015年3月期実績見込)
工場等	総合研究所(愛知県春日井市)、技術研究所(岐阜県各務原市)、 関工場(岐阜県関市)
国内子会社	(株)メニコンネクト(名古屋市中区)、(株)ダブリュ・アイ・システム(東京都豊島区)
在外子会社	Menicon SAS(フランス・クリシー)、Menicon Pharma SAS(フランス・ストラスブール)、Menicon Holdings B.V.(オランダ・アムステルダム)、David Thomas Contact Lenses Ltd.(イギリス・ノーザンプトン)、Menicon Singapore Pte. Ltd.(シンガポール)、NKL Contactlenzen B.V.(オランダ・エメン)

# 直近の業績推移 — 売上高、営業利益ともに堅調に推移

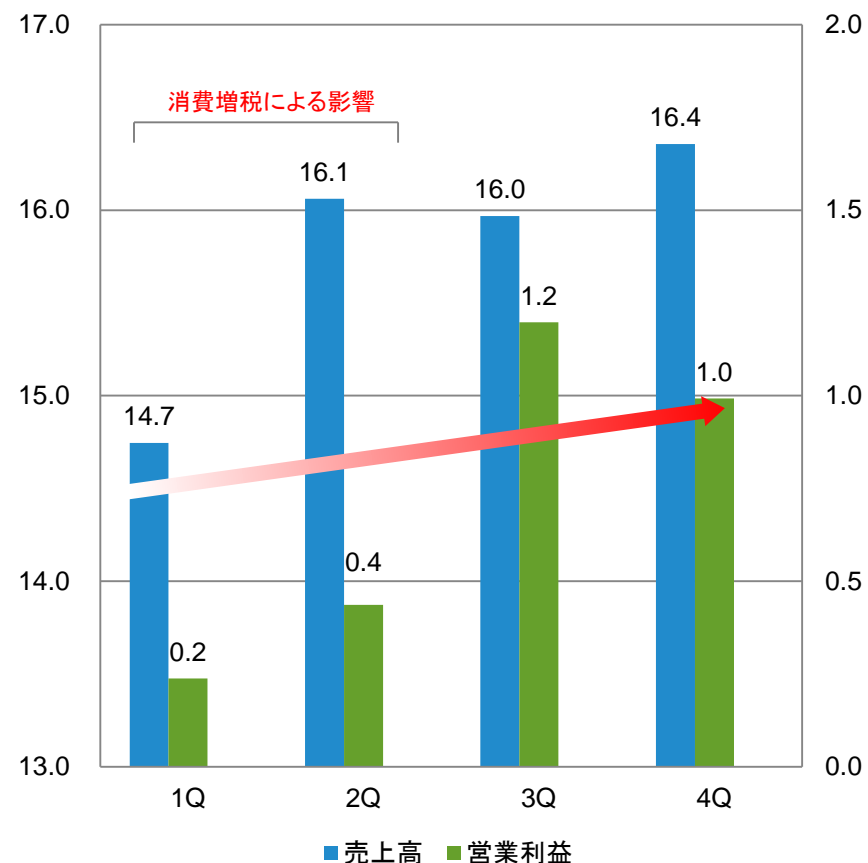
(連結)売上高、のれん償却前営業利益推移

左軸:売上高(十億円)、右軸:営業利益、のれん償却額(十億円)

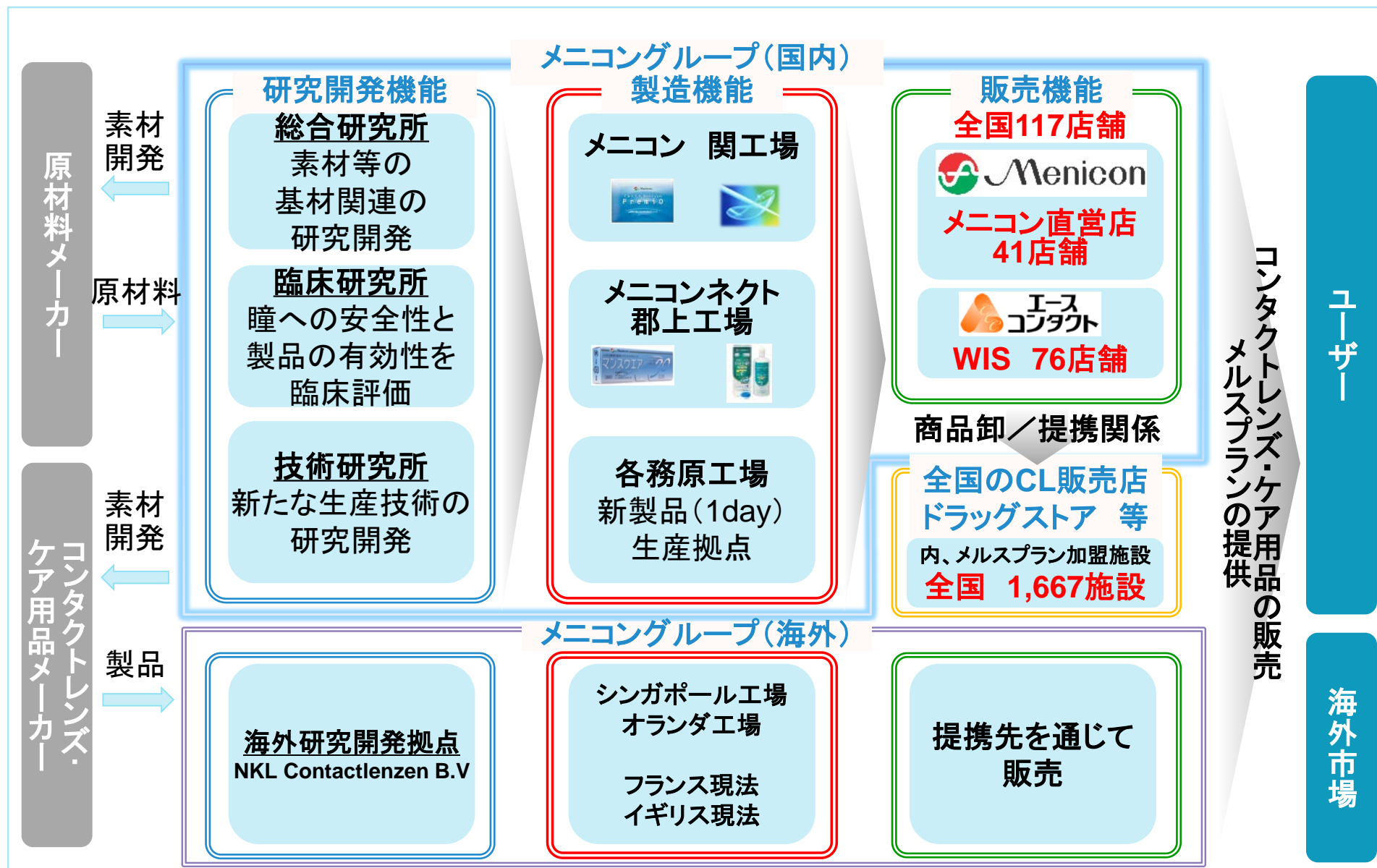


(連結)15/3期四半期売上高、営業利益推移

左軸:売上高(十億円)、右軸:営業利益(十億円)

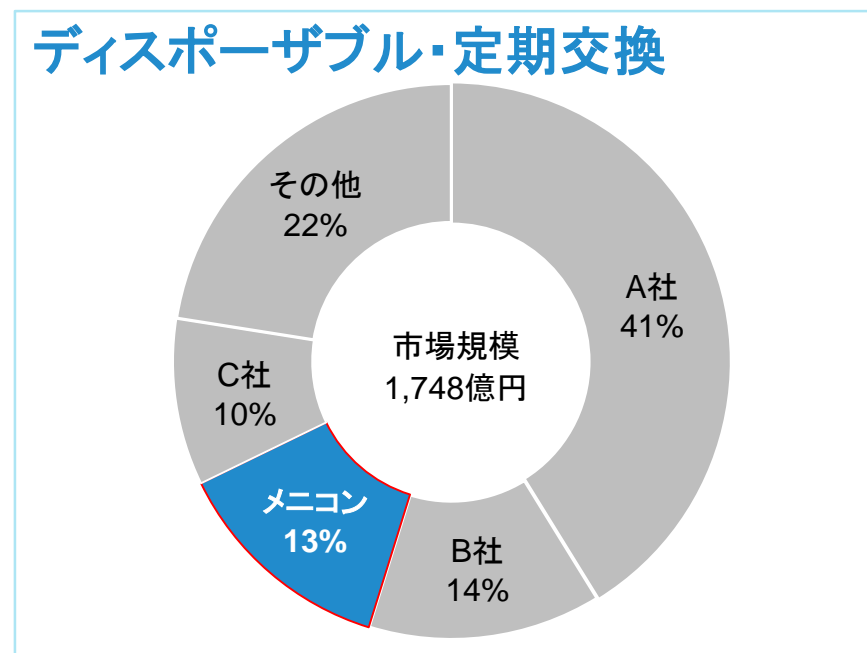
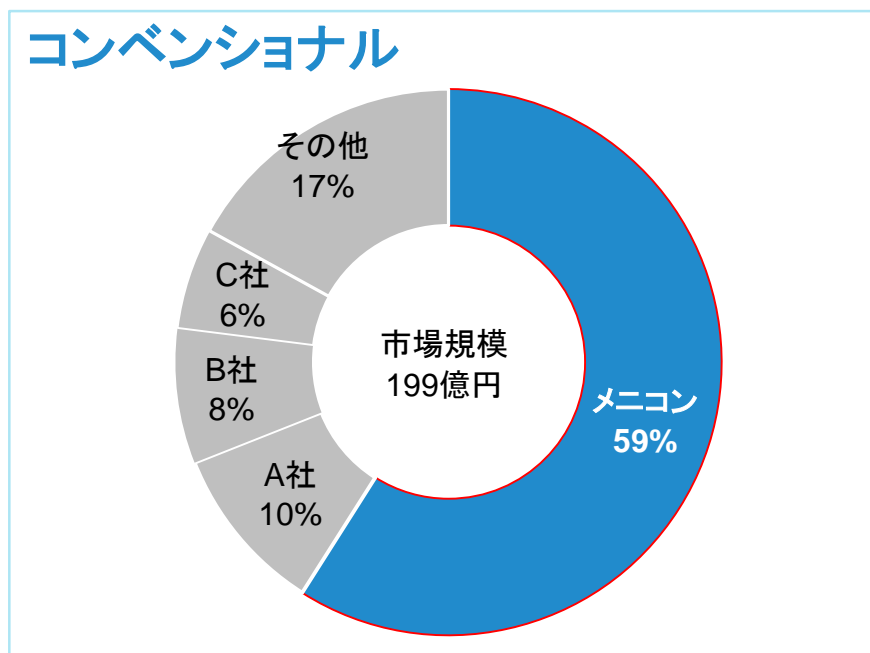
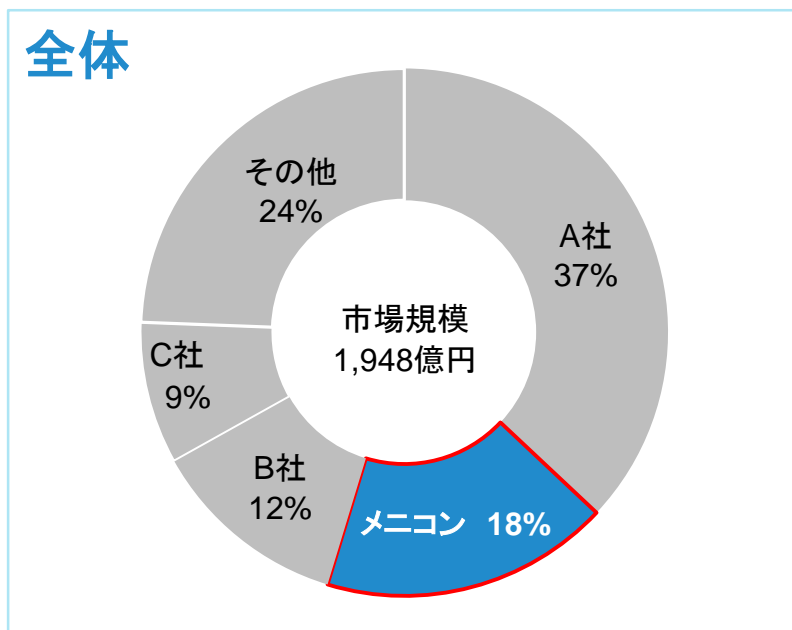


# メニコンのビジネスモデル(コンタクトレンズ事業)

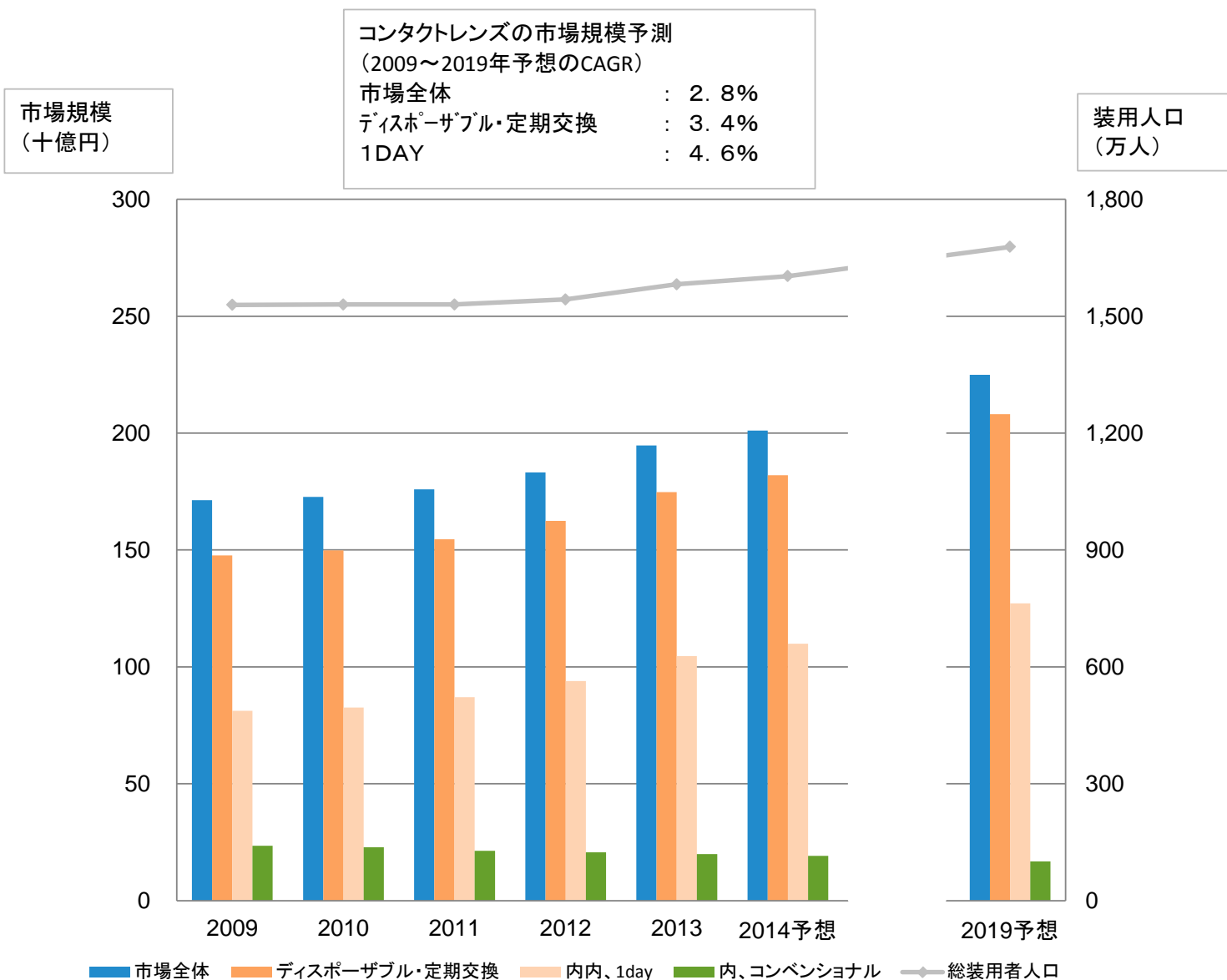


※店舗数、加盟施設数は2015年4月現在

# 国内市場シェア(2013年)



# コンタクトレンズ市場予想 - 安定的な成長が見込まれるコンタクトレンズ市場



# 長期計画「Vision2020」達成に向けたメニコンの成長戦略

## 長期計画「Vision2020」の達成

メルスプランの成長

海外事業の成長

新規事業の成長

### メルスプラン成長戦略

- メルスシステム加盟店1,667店(平成27年4月末)
- 会員数111万人(平成27年4月末)

### 新製品戦略

- ディスポーザブルレンズ・定期交換レンズでの新製品投入
- 生産インフラ体制の強化

### 海外事業展開

- 海外マーケットにおける成長ポテンシャル

### 透明性の高いガバナンス体制によるスピード感のある経営判断

- 2010年より委員会設置会社へ移行

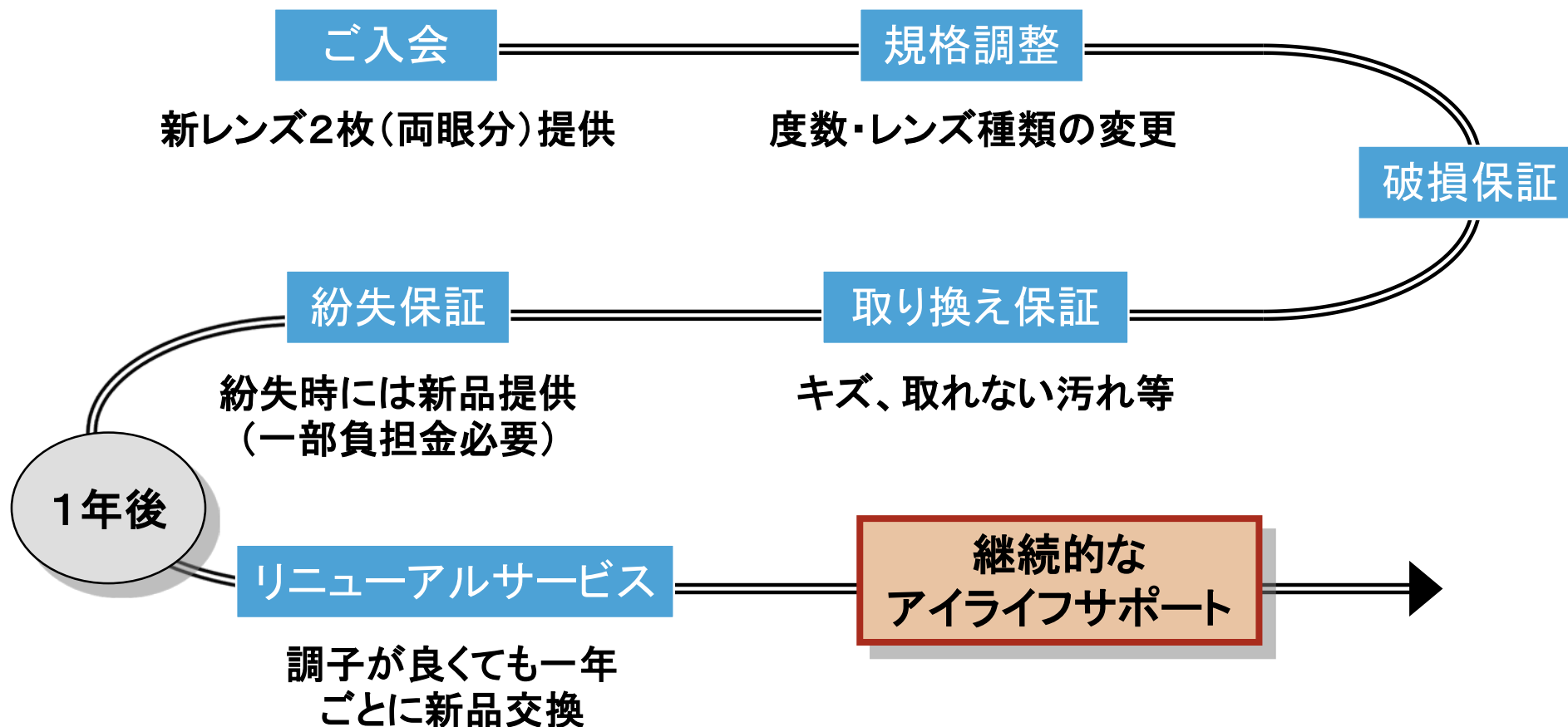
### 新規事業

- 再生医療分野、バイオ細胞分野等におけるポテンシャル

# メルスプランのサービスシステム

## Menicon Eye Life Support Plan

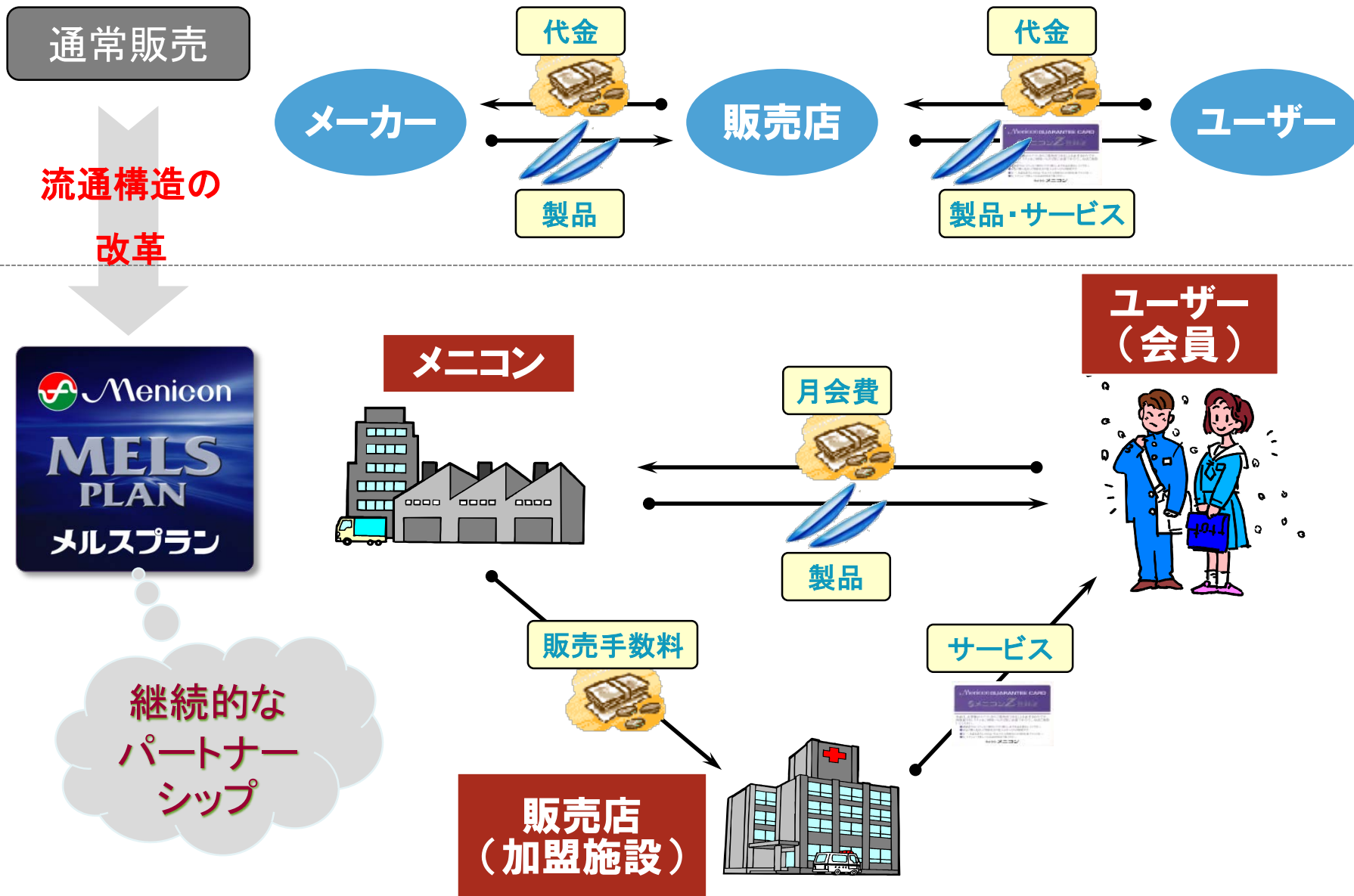
- メニコンの高品質なコンタクトレンズを常にベストコンディションで使い続ける、ユーザーの瞳の健康を最優先した全く新しいサービスシステム



眼科医の判断のもと、上記サービスが何度でも受けられる。

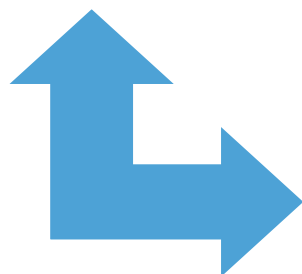


# メルスプランによる流通構造の变革

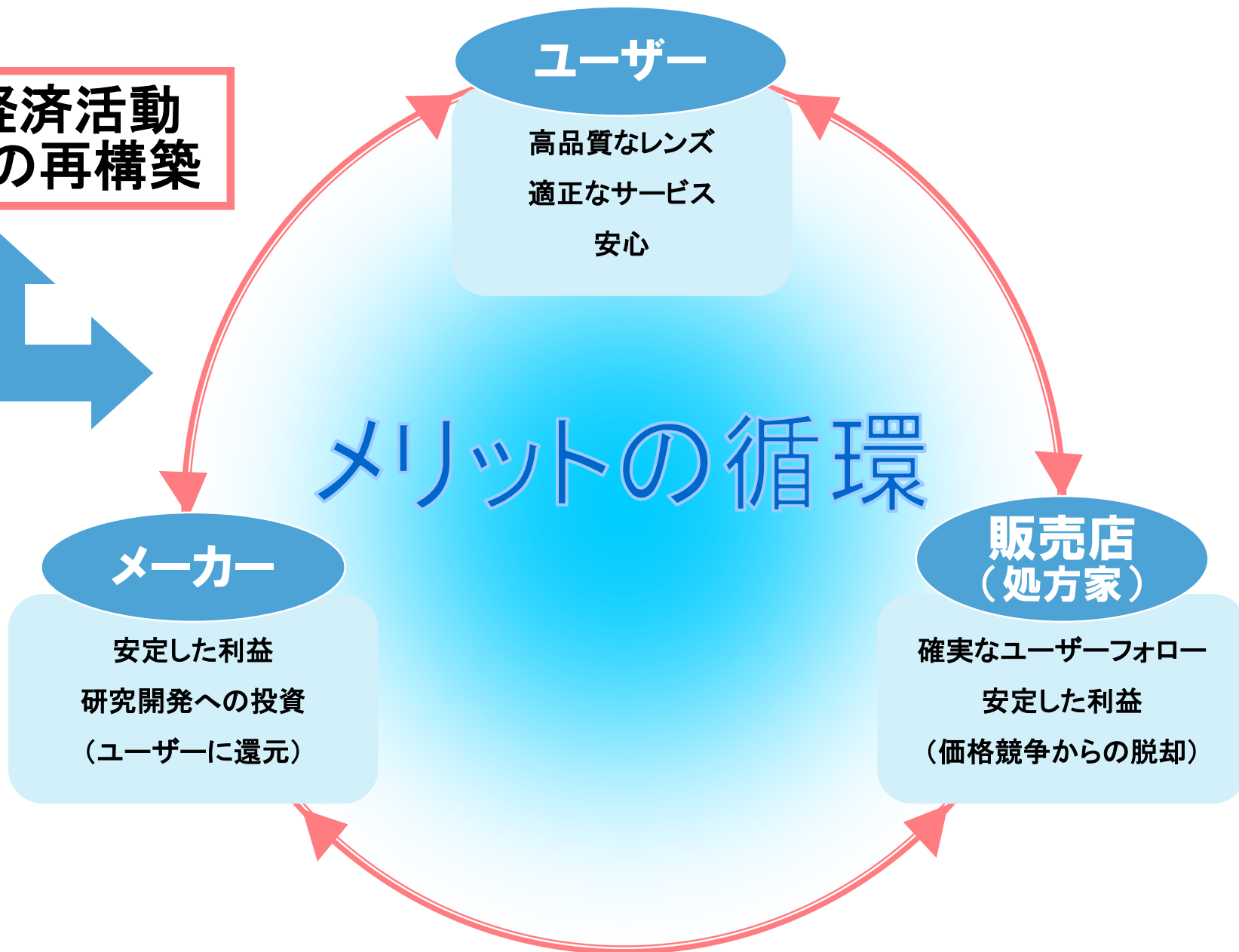


# メルスプランのメリット

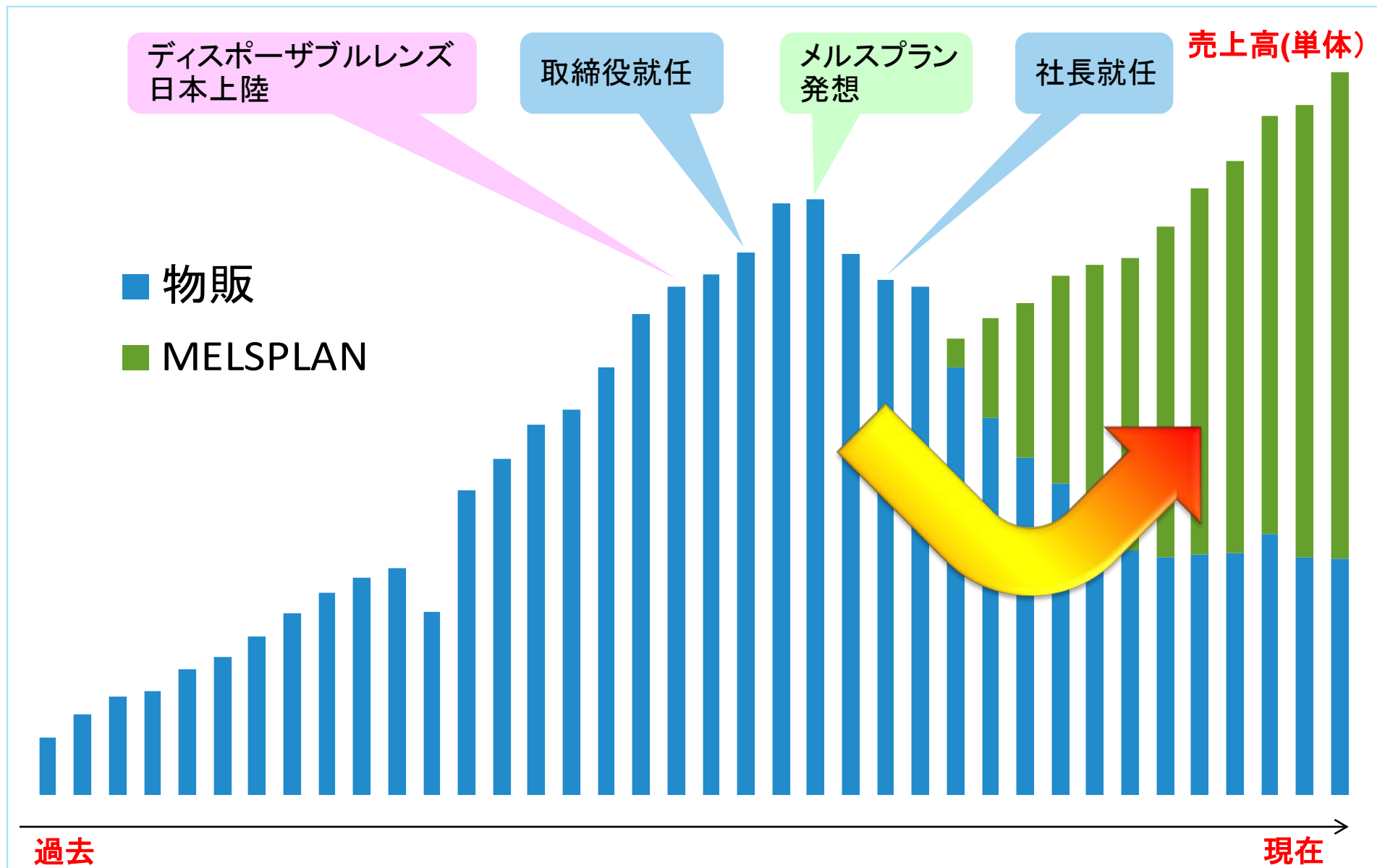
健全な経済活動  
サイクルの再構築



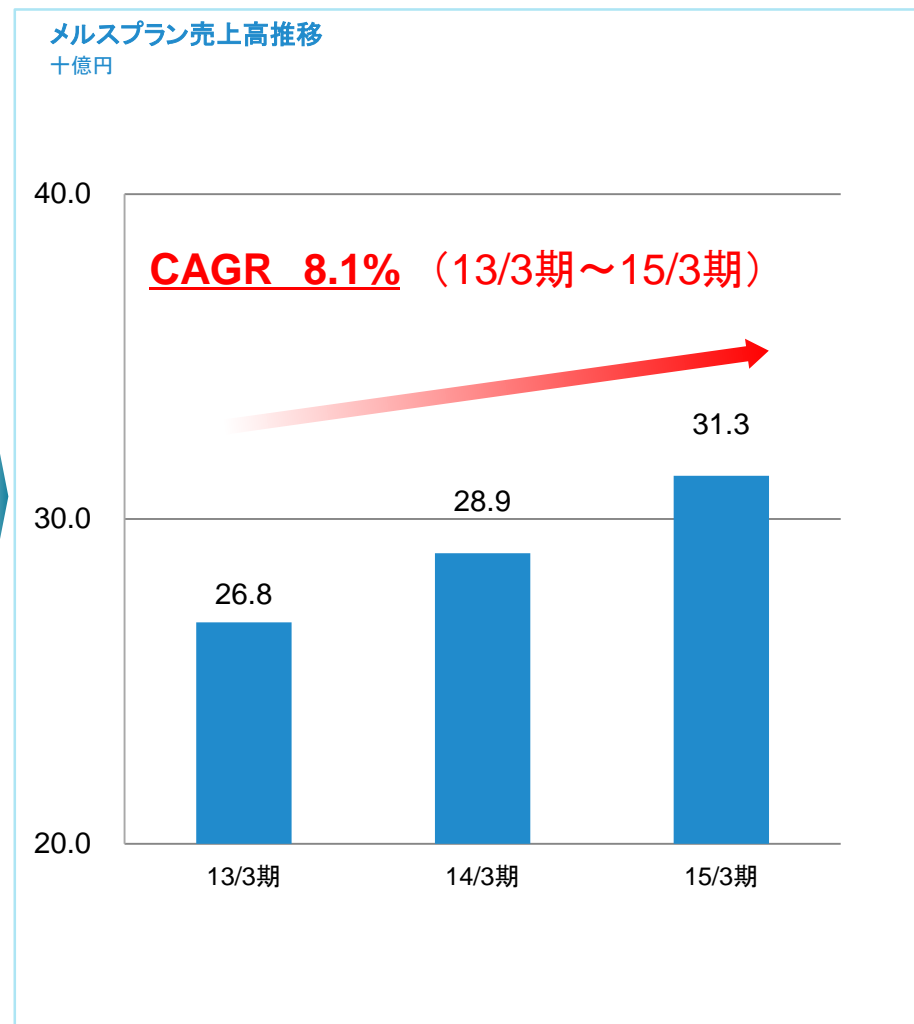
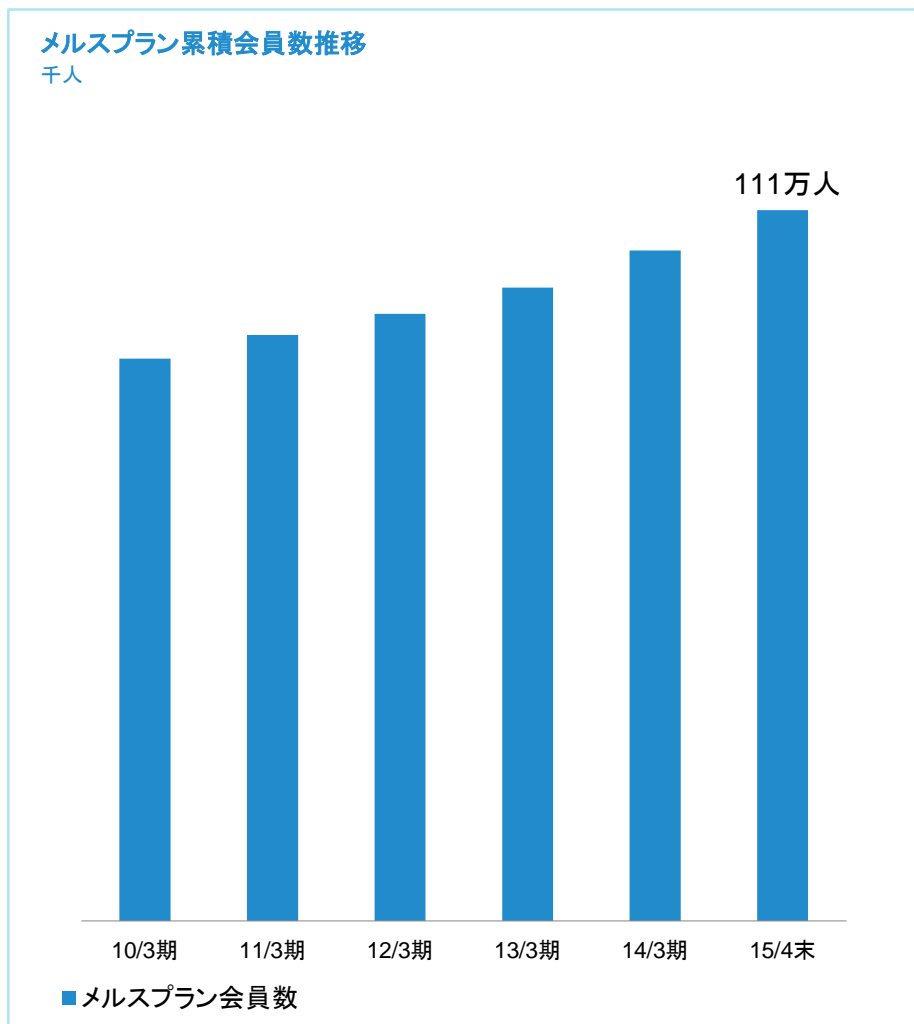
## メリットの循環



# 過年度の業績推移

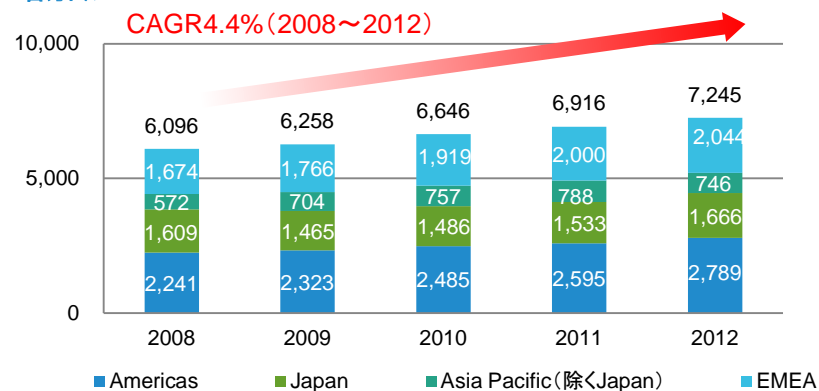


# メルスプランの着実な成長実績



# 海外事業展開

海外市場規模  
百万ドル



出所: Veris Consulting, Inc.

注釈: 最上段の数値は合計値AmericasにはUS、Canada、Latin Americaを含む

## 海外コンタクトレンズ関連事業拡大に向けた施策

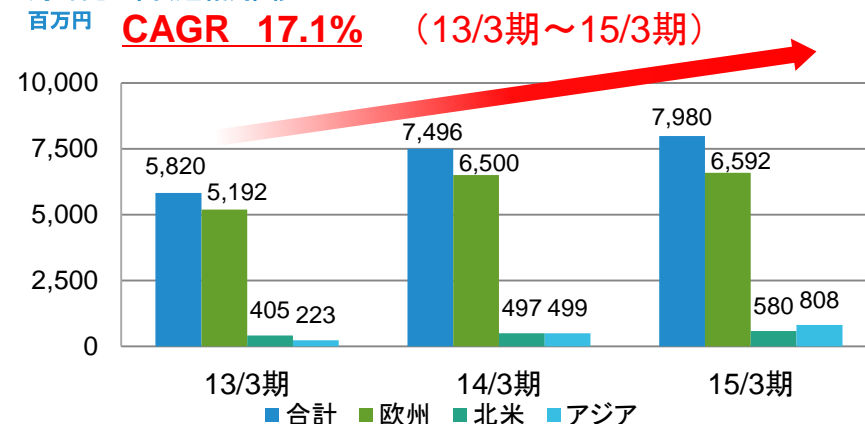
### M&A

- M&Aを積極的に活用し、コンタクトレンズ装用人口の多い欧州、北米、アジア・オセアニアをカバーする製造販売拠点を確立

### 海外向けブランド

- 欧州やアジアにおいて、日本と同様に今後ディスポーザブル・定期交換レンズへのシフトが本格化することを見据え、1dayセグメントの海外向けブランド「Miru」を立ち上げ

海外売上高(連結)推移  
百万円



# 透明性の高いガバナンス体制によるスピード感のある経営判断

## ガバナンスの変革

執行役会 執行役10名

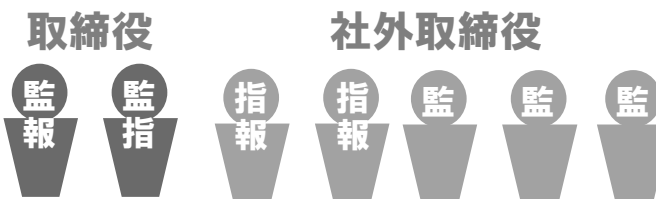


取締役兼  
代表執行役



監視

取締役会 取締役8名(内、社外  
取締役5名)



監...監査委員  
指...指名委員  
報...報酬委員

経営の透明性向上/業務執行の迅速化

企業体質の変革  
～利益体質強化を追求～

グローバル企業への脱皮

# 新規事業

## ① 動物医療(眼科)事業

•動物医療(眼科)事業におけるオンリーワン企業となることを目指し、グローバルに事業を展開

犬用眼内レンズ

治療用コンタクトレンズ

動物用医療機器

サプリメント



## ② 環境バイオ事業

•洗浄剤の開発過程において発見した新種菌から産生される酵素の強力な分解力に注目し活用した環境エコ事業

畜産分野

農業分野

飼料分野

コーヒー豆粕飼料



## ③ ライフサイエンス事業

•新規事業の中で最も将来的に期待が大きい事業、上海R&M社との合併事業もスタート

不妊治療向けサプリメント

三次元細胞培養試験

皮膚培養(中国事業)

婦人科分野向けサプリメント

研究用理化学製品(止血剤等)



スパームソータ クオリス



プレグナ

# 新規事業(事例)

## 2 環境バイオ事業—事例(スターバックスコーヒー ジャパンとの協働)

- 食品廃棄物であったコーヒー豆粕を回収し乳酸発酵させることで長期保存と飼料としての利用を可能にする技術を確立

### コーヒー豆かすリサイクルの流れ

